



第130回 中村屋健康保険組合 組合会

令和6年2月21日（水）

14：00～15：00

西新宿三井ビル会議室

中村屋健康保険組合



第130回 中村屋健康保険組合 組合会 議題

報告事項

第1号報告 健保組合規程等の一部変更に関する件
人間ドッグ自己負担額の変更

第2号報告 令和5年度更正予算提出の件
支出大幅増のため準備金より取り崩す

第3号報告 令和5年度 健康保険・介護保険収入支出
決算見込（案）に関する件
健保の経常収支は大幅赤字・介護は黒字見込み

第4号報告 収支予算の同一款内流用に関する件



審 議 事 項

第 1 号議案 健保規程の文言修正に関する件

人間ドッグ健診機関追加

第 2 号議案 法定準備金の限度外部分繰入れ(案)に関する件

第 3 号議案 令和6年度 健康保険・介護保険収入支出
予算（案）に関する件

報告事項

23年12月 理事長専決

第1号報告 健康保険組合規程変更に関する件

短期人間ドッグ利用規程

短期人間ドッグ利用規程	
新	旧
(利用料)	(利用料)
8条 前第3条第1項の利用資格者がこのドッグを使用した場合の利用料は、被保険者被扶養者ともに一部負担金として 7,000円 を受診当日受診機関に支払うものとする。	8条 前第3条第1項の利用資格者がこのドッグを使用した場合の利用料は、被保険者被扶養者ともに一部負担金として 5,000円 を受診当日受診機関に支払うものとする。

2006年（平成18年）以来の変更

人間ドッグ当健保の現状 1) 財政状況の悪化続く

当社は人間ドッグと法定健診を兼ねており、他社と比べて大変手厚い待遇。

23年度ドッグ受診者数実績（含被扶養者） 952名（受診率高い）
24年度（価格改定＋予約システム導入） 923名

平成17年度（2005年度）と令和4年度（2022年度）健保概況

	平成17年度(A)	令和4年度(B)	(A)/(B)比	
被保険者数(人)	2,300	1,250	▲ 1,050	加入者数は45%減
経常収入計(千円)	746,462	545,473	▲ 200,989	収入2億減
経常支出計(千円)	531,677	590,211	58,534	支出は増
保険給付費(千円)	287,160	288,916	1,756	一人当たり医療費は増
納付金(千円)	165,210	232,613	67,403	高齢者への「仕送り」も増
保険事業費(千円)	36,743	46,757	10,014	ドッグを含む事業費増
経常差引額(千円)	151,626	▲ 44,738	▲ 196,364	経常収支は大幅赤字
別途積立金(千円)	600,000	141,372	▲ 458,628	積立金も減
保険料率(%)	8.1	9.17	1.07	負担率は増

*料率は翌平成18年度に7.326%に下げ、財政悪化により平成25年に現在の9.17%になる

人間ドッグ当健保の現状 2) ドッグ機関からの値上げ要請相次ぐ

新型コロナウイルス発生以降、ドッグ健診機関より値上げの要請が相次ぎ、交渉はするものの、値上幅を抑えるだけとなり、結果として健保負担額は増加の一途。

(値上げの事由 : 検査キット、光熱費、人件費の高騰、
コロナ対策による受入れ枠の減少)

過去5年の人間ドッグ 受診者数と健保負担額推移

令和3年以降、各健診機関から値上げ要請が相次ぐ。(契約23機関のうち18機関)

年度	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
受診者数(人)	1,155	1,077	1,066	960	951
受診率(%)	89.6	87.1	88.5	81.4	81.8
健保負担額(円)	26,907,808	24,727,956	26,434,019	28,913,775	28,844,077
一人当たり(円)	23,297	22,960	24,797	30,119	30,330

令和5年は令和1年に比べ健保負担額が、7,033円上昇。

上記額の他に法定健診費、自己負担分等が加わる。

1人あたり、ドッグ機関に支払っている合計の平均は約52,000円/人

報告事項

24年1月 理事長専決

第2号報告 令和5年度更正予算提出の件

健康保険法施行令第16条の規定により予算を変更

被保険者の医療費の増額により、保険給付費の不足が生じるため、
準備金限度外部分金を繰入し、支出の不足に充てるものである。

収入科目	変更予算額 (千円)	既定予算額 (千円)	増減(千円)	算出の基礎
繰入金	35,000	15,000	20,000	
準備金繰入	35,000	15,000	20,000	
準備金限度外 部分外繰入	35,000	15,000	20,000	
収入合計	615,097	615,097	20,000	

準備金（貯金）を20,000千円崩して一般会計（予備費）に繰り入れ

保険給付について （当健保の現状）

		令和4年度実績	令和5年度予算	令和5年度推計	令和5年度推計比較	
					対前年度実績	対当年度予算
支出	事務所費	21,583	25,602	20,815	-768	-4,787
	保健給付費(医療費)	288,916	307,427	330,086	41,170	22,659
	納付金	232,613	191,755	188,975	-43,638	-2,780
	保健事業費	46,757	57,879	46,405	-352	-11,474
	還付金・連合会費・雑支出	342	802	458	116	-344
小計経常支出 (B)		590,211	583,465	586,739	-3,472	3,274

このうち保険給付費が前年比大幅増

この中で療養給付費・薬剤給付費（本人）が大幅増

- ・コロナ受診控えが緩和し受診機会が増えた
- ・高額（月100万円以上）医療、薬剤を使う被保険者が複数名



報告事項

第3号報告 令和5年度 健康保険・介護保険収入支出 決算見込（案）に関する件

【健康保険】

- 保険料収入は、加入者数は横ばいも、標準報酬が上がったことにより、前年比13,992千円、予算比10,256千円増。
- 支出、医療費についてコロナが緩和し受診増が見られ、全体では前年比14%の大幅増、予算比7%増であった。
- 納付金は大幅減。コロナの影響。令和6年度は大幅増。収支圧迫
- 結果、**経常収支では27,440千円の赤字**の見込み。
- トータルでは経常外の繰越金等をして**20,074千円の黒字**見込み。

⇒「貯金」を取り崩して黒字にしている。

令和5年度 健康保険収入支出実績推計

		令和4年度実績	令和5年度予算	令和5年度推計	令和5年度推計比較		
					対前年度実績	対当年度予算	
被保険者数(人)		1,272	1,265	1,267	-5	2	
標準報酬月額(円)		321,403	319,317	327,743	6,340	8,426	
(単位:千円)							
経常収支	収入	一般保険料	538,202	541,938	552,194	13,992	10,256
		雑収入・利子・回収金・補助金など	7,271	7,730	7,105	-166	-625
		小計経常収入 (A)	545,473	549,668	559,299	13,826	9,631
	支出	事務所費	21,583	25,602	20,815	-768	-4,787
		保健給付費(医療費)	288,916	307,427	330,086	41,170	22,659
		納付金	232,613	191,755	188,975	-43,638	-2,780
		保健事業費	46,757	57,879	46,405	-352	-11,474
		還付金・連合会費・雑支出	342	802	458	116	-344
		小計経常支出 (B)	590,211	583,465	586,739	-3,472	3,274
経常収入支出差引額 (A)－(B)		-44,738	-33,797	-27,440	17,298	6,357	
経常外収支	収入	調整保険料	7,659	7,712	7,827	168	115
		繰越金	34,626	16,515	11,453	-23,173	-5,062
		繰入金	13,517	15,000	35,000	21,483	20,000
		その他収入	8,099	6,202	1,198	-6,901	-5,004
		経常外収入計 (C)	63,901	45,429	55,478	-8,423	10,049
	支出	財調拠出金	7,703	7,713	7,892	189	179
		介護勘定繰入ほか	0	3,732	0	0	-3,732
		予備費	0	187	72	72	-115
		経常外支出計 (D)	7,703	11,632	7,964	261	-3,668
経常外収入支出差引額 (C)－(D)		56,198	33,797	47,514	-8,684	13,717	
収入合計 (経常＋経常外)		609,374	595,097	614,777	5,403	19,680	
支出合計 (経常＋経常外)		597,914	595,097	594,703	-3,211	-394	
収入支出差引額		11,460	0	20,074	8,614	20,074	
財産	法定準備金残高		294,668	270,249	259,668	-35,000	-10,581
	別途積立金残高		141,372	133,980	141,372	0	7,392
	1人当たり別途積立金		111	106	112	0	



報 告 事 項

【介護保険】

- ☐ 介護納付金が落ち着いて推移しており、今年度も黒字の見込み。
- ☐ 今後も保険料収入の推移に注視。

令和5年度 介護保険収入支出実績推計

		令和4年度実績	令和5年度予算	令和5年度推計	令和4年度推計比較		
					対前年度実績	対当年度予算	
被保険者数(人)		822	844	827	5	-17	
標準報酬月額(円)		352,292	359,466	359,337	7045	-129	
					(単位:千円)		
収入 支出	収入	保険料収入	75,588	77,575	76,717	1,129	-858
		国庫補助金	0	0	0	-983	0
		利子・回収金・その他	1	3	1	2	-2
		繰越金	0	0	0	0	0
		繰入金	0	0	0	2,000	0
		一般勘定受入	0	3,500	0	0	-3,500
	計		75,589	81,078	76,718	-3,998	-4,360
	支出	介護納付金	68,124	63,727	63,727	-5,264	0
		介護保険料還付金	0	60	14	30	-46
		準備金繰入	0	10,000	0	2,399	-10,000
		一般勘定受入	0	3,500	0	0	-3,500
		予備費	0	3,791	0	1,500	-3,791
	計		68,124	81,078	63,741	-5,234	-17,337
	収支差引計		7,465	0	12,977	1,236	12,977
決算 残	準備金		46,754	39,289	39,289	-7,465	0
	繰越金		0	0	12,977	12,977	12,977
	計		46,754	39,289	52,266	5,512	12,977

報告事項

第4号報告 収支予算の同一款内流用に関する件

保険給付費	法定給付費	療養費 (143,485円)	← 療養給付費 1,937,456円
		入院時食事・生活療養費 (108,045円)	
		家族訪問看護療養費 (772,752円)	
		高額療養費 (153,659円)	
	附加給付費	一部負担還元金 (1,111,000円)	← 予備費 1,560,779円
		合算高額療養附加金 (109,000円)	
		家族療養附加金 (101,000円)	
還付金	保険料還付金	保険料還付金 (72,883円)	

※予算の配分の問題であり、収支に大きな影響を与えるものではありません。

審 議 事 項

第 1 号議案 健保規程の文言修正に関する件 短期人間ドッグ利用規程（別表）健診機関の追加

◇ 概要

福岡で契約している健診機関の規模縮小に伴い、健保組合で代替施設を
探し新規契約。

新規

桜十字博多駅前健診クリニック

福岡市博多区博多駅中央街 8 - 1

保険者の利便性向上。トータル24施設。

* 人間ドッグ健診機関契約にあたっては、法定健診も兼ねているため、
その情報を提供できる機関に限定される（提供できない機関とは契約不可）。



審 議 事 項

第2号議案 法定準備金の限度外部分繰入れ(案)に関する件

◇保険給付費（医療費）の大幅な変動リスク等への備えとして、
法定準備金限度外部分より、20,000千円の繰入れを行う。

＜法定準備金について＞

解散に備えた分については、保険給付費相当分2か月分（≒2千万）、
納付金相当分1か月分（≒2千万）を当分の間、積み立ての対象とする
（平成26年11月19日付改正）



審 議 事 項

第3号議案 令和6年度 健康保険・介護保険収入支出 予算（案）に関する件

健 康 保 険

- ☐ 令和6年度は収入（保険料）は前年1,100万円増を見込む。（標準報酬増）
- ☐ 納付金（高齢者向け）が大幅増。前年比3,800万円増の2.3億円
（国から請求されるので、健保ではコントロールできない）
- ☐ 医療費・保健事業費は前年並みで計上 約3.3億円。
- ☐ 事務所費 人員増、マイナンバーシステム推進費で前年比700万円増。
- ☐ 調整保険料率（健保連が徴収）は維持0.130%
- ☐ 健保の予算の性質上、収入は少なく、支出を多く見積もり経常収支は
マイナス、準備金限度額部分繰入れする予算となっている。

令和6年度 健康保険収入支出予算

		令和5年度推計	令和6年度予算	推計対比金額
被保険者数(人)		1,280	1,267	-13
標準報酬月額(円)		319,317	333,653	14336

収入 支出 状況	収入	一般保険料	552,194	563,684	11,490
		雑収入・利子・回収金・補助金など	7,105	187	-6,918
		小計経常収入	559,299	563,871	4,572
		調整保険料	7,827	7,994	167
		繰越金	11,453	20,047	8,594
		繰入金	35,000	69,320	34,320
		その他収入	1,198	11,949	10,751
	合 計		614,777	673,181	58,404
	支出	事務所費	20,815	27,591	6,776
		保健給付費(医療費)	330,086	331,668	1,582
		納付金	188,975	227,736	38,761
		保健事業費	46,405	53,357	6,952
		還付金・連合会費・雑支出	458	1,050	592
		小計経常支出	586,739	641,402	54,663
		財調拠出金	7,892	8,021	129
		介護勘定繰入ほか	72	23,758	23,686
	合 計		594,703	673,181	78,478
	収支差引残高		20,074	0	-20,074
	経常収支差引額		-27,440	-77,531	-50,091

繰入金（貯金）を崩して補填

ご自身・家族がマイナンバーカードで適切に受診できるように
迅速な健康保険の加入手続きをお願いします。

【マイナンバーカードと保険証の一体化】

- 令和6（2024）年12月2日に保険証は「原則」廃止となります。
- 保険証の廃止後は、マイナンバーカードが保険証の代わりとなります。
（○中村屋健保では加入者全員に「資格確認証」（1年有効）を発行）

【ご自身・家族のためにも迅速な手続きを！】

- 健保組合へマイナンバーが未届出であったり、加入手続きが遅れると医療機関や薬局で資格確認が出来ず、ご自身・家族が困ってしまいます。
- 今は、保険証があれば保険診療を受けられますが、保険証が廃止になると、資格が確認できない場合には、窓口負担が10割となる可能性があります。



- 保険証の廃止は、ご自身・家族への保険証配布・回収に伴う事務負荷やコストの軽減にもつながります。（初診、再診料がマイナカードだと割引）
- 保険証廃止に向け、今後速やかな届出のご協力をお願いします。

留意点

健保組合への加入手続きは、当該事実があった日から5日以内にマイナンバーを記載し届出することとされています。（健康保険法施行規則）

【速やかに届出いただくために電子申請の活用を！】

マイナンバーカードの健康保険証紐づけ状況 (24年1月21日現在)

■ 保険者制度別 紐付け完了数

厚生省HPに公表されている「医療保険に関する基礎資料」※4における各医療保険加入者数を母数とする。

制度名称	利用申込者数※5	割合	前回との差
全国健康保険協会（協会けんぽ）・船員保険	23,283,328 / 40,412,000	57.61%	0.03%
健康保険組合	16,919,094 / 28,681,000	58.99%	0.04%
共済組合	6,276,657 / 8,679,000	72.32%	0.05%
市町村国民健康保険	13,228,431 / 26,193,000	50.50%	0.01%
国民健康保険組合	1,430,782 / 2,711,000	52.78%	0.00%
後期高齢者医療広域連合	10,230,169 / 18,060,000	56.65%	0.17%
合計	71,368,461 / 124,736,000	57.22%	0.05%

中村屋健保は56.66%

保険者制度別 紐付け完了数

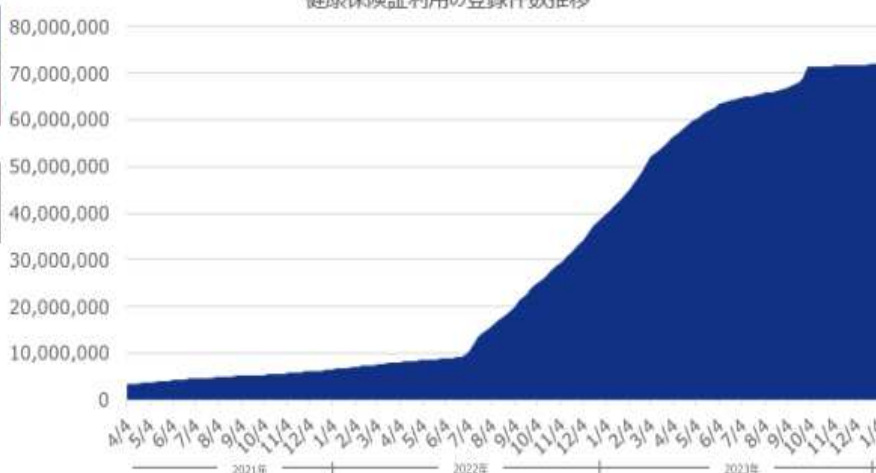


■ 健康保険証利用の紐付け件数※5

集計範囲	保険証利用の登録件数
2024/1/14~ 2024/1/21	63,240
合計	72,066,614

申込数比	98.4%
前週比	100.09%

健康保険証利用の登録件数推移



マイナ保険証利用率 4.36% 国家公務員

厚生労働省は6日、健康保険証をマイナンバーカードと一体にした「マイナ保険証」について、国家公務員の利用率が2023年11月時点で4・36%だったと発表した。武見敏三厚労相は同日の記者会見で「率先して使っていたらもう少し動きかける必要性を改めて認識した」と述べた。

厚労省が国家公務員のマイナ保険証の利用率は23年12月時点で4・29%で、8カ月連続で低下している。

政府は23年12月に現行の健康保険証を24年12月2日に原則として廃止することを決めた。全国のマイナ保険証の利用率は23年12月時点で4・29%で、8カ月連続で低下している。

掲載日 2024年2月7日 日本経済新聞 朝刊 5ページ ©日本経済新聞社

マイナンバーカードを健康保険証として使ってもらうことが課題



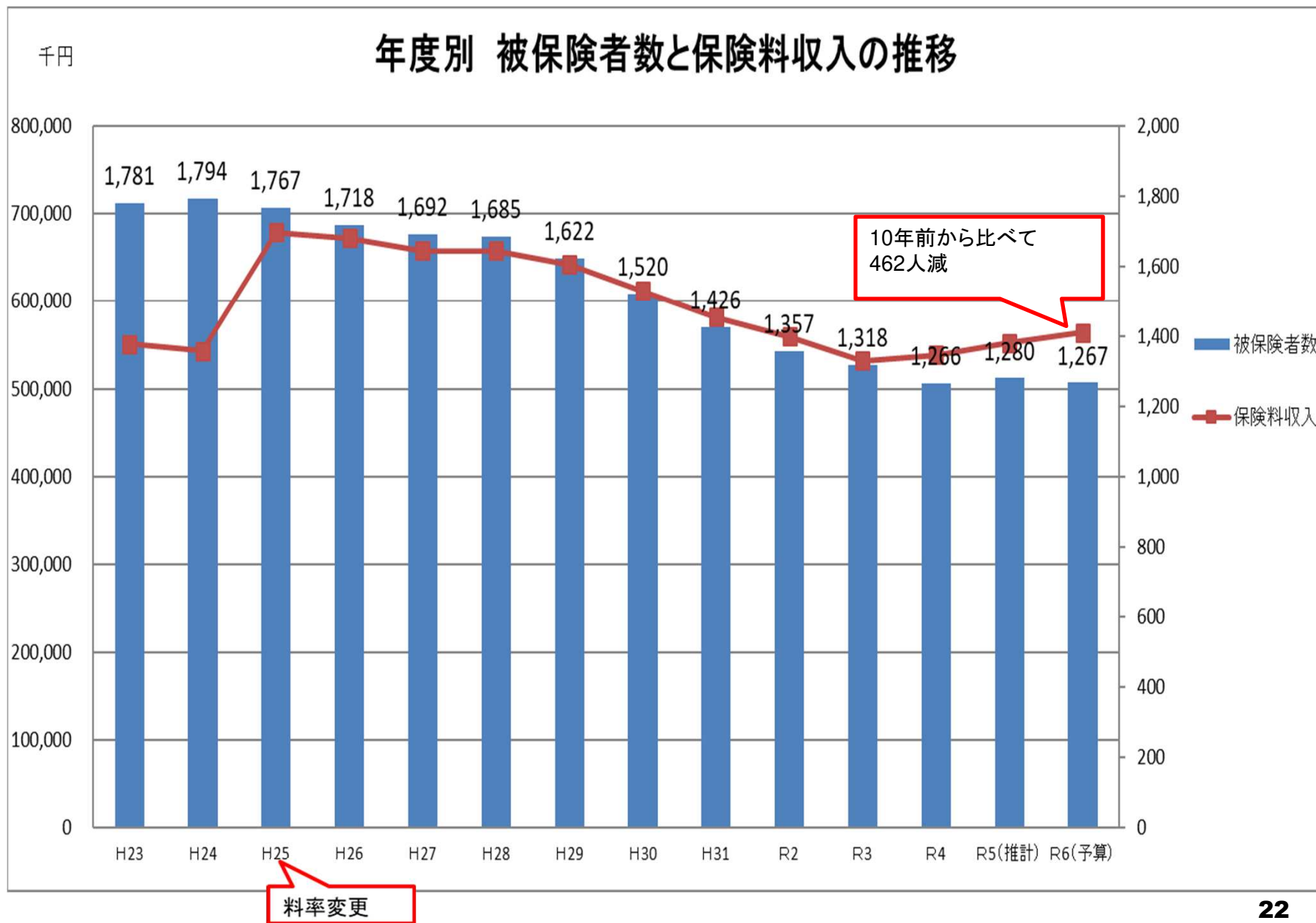
審 議 事 項

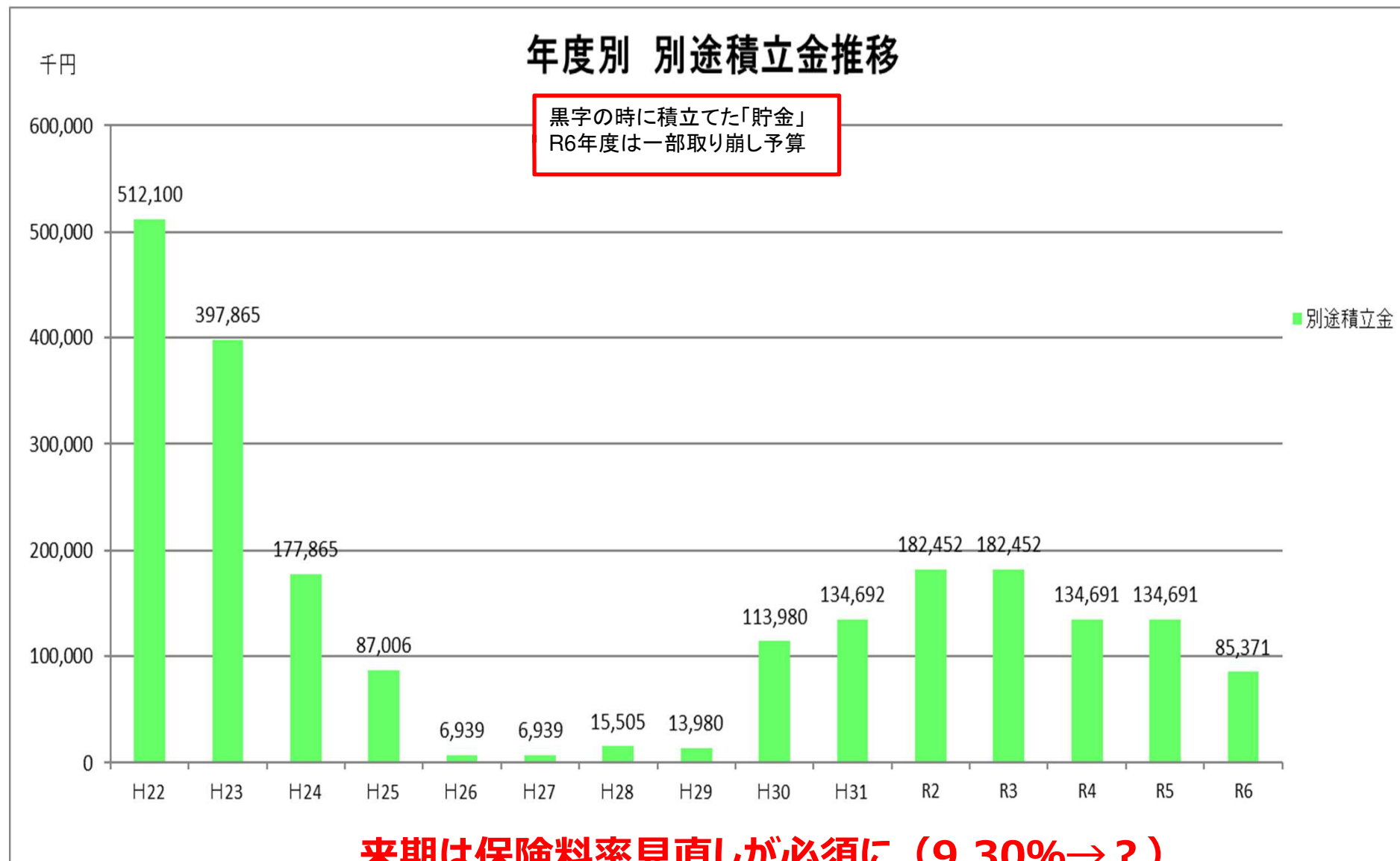
介 護 保 険

- ☐ 令和5年度、保険者数は微増し、納付金が安定的に推移している。
積立金を取り崩すことなく、保険料収入でまかなえる見込み。
- ☐ 準備金も黒字が数年続き、余裕が出てきているが、高齢者医療への
拠出金は全組合での納付額が決まっているため他組合の拠出が減れば、
当健保の負担が増えるリスクがあり。
- ☐ 納付金はコントロールができない。また一般勘定への繰入も
見込まれることから、このままの料率を維持・推移は注視していく。

令和6年度 介護保険収入支出予算

			令和5年度推計	令和6年度予算	推計対比金額
被保険者数(人)			844	853	9
標準報酬月額(円)			359,466	360,857	1391
					(単位:千円)
収入 支出	収入	保険料収入	76,718	81,745	5,027
		国庫補助金	0	0	0
		利子・回収金・その他	1	1	0
		繰越金	0	0	0
		繰入金	0	0	0
		一般勘定受入	0	3,500	3,500
	計		76,719	85,246	8,527
	支出	介護納付金	63,727	76,522	12,795
		介護保険料還付金	14	30	16
		準備金繰入	0	0	0
		一般勘定受入	0	3,500	3,500
		予備費	0	5,194	5,194
	計		63,741	85,246	16,311
収支差引計		12,978	0	-7,784	
決算 残	準備金		39,289	52,267	12,978
	繰越金		12,978	0	12,978
	計		52,267	52,267	0







【まとめ】

2024年度は新型コロナウイルスが5類になってほぼ1年たち、社会活動もコロナ前に戻りつつあります。

健保は収入増が見込まれるものの、それを上回る支出が想定されます。

健保組合は皆さんの保険料で運営していますので、24年度は保険料率見直しやこのままの状況だと保健事業の縮小も検討しなければいけません。

医療費抑制には、加入者の皆さん一人ひとりに健康への関心を持ってもらうことがその第一歩だと考えています。健保でもできる限りのペーパーレス、デジタル化をすすめ事務運営の効率化、経費抑制策を推進してまいります。

2024年度は、マイナカードへの一本化による健康保険証の廃止、第三期データヘルス計画の初年度となり、事業主と共に更に健康に関心を持ってもらえるような健保業務に取り組みますのでご理解・ご協力をお願いいたします。